

# 山田弘幸個展「写真になった男」 活動報告

## 概要

### タイトル

山田弘幸個展「写真になった男」

### 開催期間

2018年6月16日～7月16日

### 場所

ARTZONE

### 総来場者数

567人

### トークイベント来場者数

21人

# 展示風景

山田弘幸 個展

# 写真になった男

2018.6.16[土]-2018.7.16[月]

平日 13:00-20:00 / 土日祝 12:30-20:00

入場無料

山田弘幸は、彫師の職を辞し中米の滞在を経て、2011年ごろから写真作品の制作をはじめました。「TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD 2016」など多数のコンペティションでグランプリを受賞した彼は、気鋭の作家として今後の活動に注目が集まりつつありました。しかし、山田は2017年に開催された個展の直後、突然行方をくらましてしまいます。最後に残されたのは、彼が約7年のあいだに撮りためた大量のユニーク作品と「写真のなかに入りたい」という言葉でした。山田が失踪した今、私たちは残された写真でしか彼の存在を確認することができません。

本展は、幼くして亡くした父を題材にした「Padre」と、それ以前に制作した複数のシリーズ作品により構成されています。今はもう存在しない父と自身の身体を重ねるようにして撮られた「Padre」を軸として、山田が写真を通して試みたことを振り返ります。

一人の男が写真の魅力に魅せられ、ついには写真になるまでの経緯を、皆さまの目でお確かめください。











**LOVE  
KILL  
BLOVE**





Live







Live



# 会計報告

・フライヤー

[納 期]6日納期[名 称]B5カード

[色 数]両面カラー

[用 紙]ヴァンヌーボVホワイト175kg

[枚 数]3,000枚

[料 金]72,180 円

---

単品計            72,180 円

・ポスター

[納 期]7日納期[名 称]A2ポスター

[色 数]片面カラー

[用 紙]マットコート90kg

[枚 数]300枚

[料 金]10,530 円

---

単品計            11,241 (円)

+代引き手数料

合計 83,921円



2018.6.16[土]-2018.7.16[月] 平日 13:00-20:00 / 土日祝 12:30-20:00 (入場無料) 主催：京都造形芸術大学 ARTZONE 協力：GIP gallery ARTZONE

京都造形芸術大学アートプロデュース学科が運営するアーツスペース、ARTZONEでは、6月16日から7月16日にかけて、山田弘幸個展「写真になった男」を開催いたします。

山田弘幸は2011年ごろから写真作品の制作をはじめました。彼はいくつかの展覧会に作品を出展したのち、写真のコンペティション「TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD 2016」でグランプリを受賞します。展覧として恵比寿にあるG/P galleryで個展を開催し、気取った作家として今後の活躍に注目が集まりつつありました。しかし、山田はこの展覧会の直後、すべての作品をギャラリーに託し、突如行方をくらましてしまいました。妻を溺す直前、彼はしきりに「写真のなかに入りたい」と発言していたといいます。

山田の失踪、そして「写真のなかに入りたい」という言葉について考えたとき、彼が残したある作品を思い起こします。それは、「Padre」というセルフ・ポートレートのシリーズ作品です。暗くして亡くした父を題材にした本シリーズで山田は、生前の父の姿をスクリーンに投影し、そこに自身の身体を重ねるように撮影しています。画家の喪失と喪失が喪失一体となる写真の性質を、フランスの批評家、ロラン・バルトは「それは=かつて=あった」と完了形で言い表しました。彼の言葉を借りるならば、「Padre」では、「かつてあった」生前の父と山田と、「いまはもうない」父と妻を溺した山田が時間を越え、重なっています。いま私たちが見ることが出来るのは写真のなかの山田の姿だけなのであり、その意味において「写真のなかに入りたい」という彼の願いは失敗によって果たされたのです。

本展は、山田が妻を溺してから初めての展覧会です。言い換えるのであれば、写真の魅力に囚われ、ついには「写真になった男」の初の展覧会ともいえるでしょう。この機会に、ぜひご高覧ください。

企画 藤村南帆(京都造形芸術大学アートプロデュース学科4年生)

主催 京都造形芸術大学 ARTZONE

協力 G/P gallery

スタッフ 大塚心、夏藤智美、真藤直、中川恵理子、田代菜々子、原田遼歩(同学科4年生)、

高塚、夏宮初音(同学科3年生)、瀬戸山友紀、赤野美波、谷真鈴(同学科2年生)



(untitled (#2300 upper 2014), 2017)  
photo by 村田孝典



(untitled from Abrasion, 2017)  
photo by 村田孝典



(Padre, 2017)  
©Hiroyuki Yamada, Courtesy of G/P gallery, Tokyo

山田弘幸 個展  
**写真になった男**  
2018.6.16[土] - 2018.7.16[月]  
平日 13:00 - 20:00 / 土日祝 12:30 - 20:00  
入場無料 写真・美術 (Padre 2017) ©Hiroyuki Yamada, Courtesy of G/P gallery, Tokyo



京都市中京区河原町三条下る  
一帯は東入る大國町44番QXビル1,2F  
TEL:075-212-9676 E-mail:info@artzone.jp  
open:weekday/13:00-20:00, holiday/12:30-20:00  
www.artzone.jp

山田弘幸 Hiroyuki YAMADA

1975年香川県生まれ。彫刻の職をやる中赤での滞在を経て、2011年環より絵画で写真の制作を始める。旧日本銀行広島支店での独自企画を開催した後、多数のグループ展、コンペティションへ参加。

「TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD 2016」のグランプリの受賞として、翌年にG/P galleryで個展を開催する。好評につき会期が延長されるも、直後に作品を同ギャラリーに譲渡して失踪する。主な展覧会に11年「Banco de la vida」(旧日本銀行広島支店、広島)、14年「Tokyo Midtown Award 2014」(東京ミッドタウン、東京)、15年「GCF16」(スパイラルホール、東京)、16年「美術 x アルル国際写真フェスティバル」(廈門、中国)、「Gracias a Dios」(新宿ニコソロン、東京)17年「第20回 両本土庫現代芸術展」(両本土庫記念館、東京)、「Archived/Nostrae」(G/P gallery, 東京) など。

ARTZONE

# メディア掲載



NEWS / EXHIBITION - 2018.6.4

## 写真の魅力に囚われ、写真になった男。山田弘幸の失踪後初の展覧会が開催

「写真の中に入る」ことを失踪によって果たした山田弘幸の個展「写真になった男」が、京都のARTZONEで開催される。会期は2018年6月16日～7月16日。



山田弘幸 Padre (部分) 2017 © Hiroyuki Yamada, Courtesy of G/P gallery, Tokyo

山田弘幸は1975年香川県生まれ。彫師の職をやめ中米での滞在を経て、2011年頃より独学で写真の制作を始めた。「TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD 2016」のグランプリの副賞として、翌年に東京・恵比寿のG/P galleryで個展を開催。これまでの作品をアーカイブ形式で展示した「Archived/Nosotros」は、好評につき会期が延長された。そして17年5月13日に開催されたトークイベント内で、「写真のなかに入りたかった」と発言。その後すべての作品を同ギャラリーに託し、失踪した。

70th [美術手帖]創刊70周年記念

## 第16回「美術手帖」芸術評論募集

[受付期間] 2018年9月1日～2019年1月11日

[詳しくはこちら](#)

### MAGAZINE RANKING

DAILY | WEEKLY | MONTHLY

- 1 NEWS  
モネ《睡蓮》から、ロスコ、ウォーホ...
- 2 NEWS  
新潟の歴史と現代の表現を五感で楽し...
- 3 NEWS  
初来日作品も。イサム・ノグチの全容...
- 4 NEWS  
映画の中に入り込む体験を。エルメス...
- 5 NEWS  
名和晃平がルーヴル美術館で高さ10m...

美術手帖

3号連続 **50%OFF** キャンペーン

4号目以降もずっと**10%OFF**

毎月価格 1,728円(税込) ... 一回あたり 334円(税込)

# Web版美術手帖

NEWS

## 山田弘幸による失踪後初の個展「写真になった男」

失踪して姿をくらましていた写真家、山田弘幸の個展「写真になった男」が6月16日から京都にあるギャラリースペースARTZONEにて開催される。

SHARE



TWEET



Ray Washio

MAJ 29 2018, 3:43PM



©Hiroyuki Yamada, Courtesy of G/P gallery, Tokyo

山田弘幸は、もともと彫師として活動していたが、その後中米での滞在を経て、独学で写真を始めた写真家である。2016年には「TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD 2016」でグランプリを獲得し、その副賞として翌年にはG/P galleryで個展を開催するが、転機はおそらくそこだった。

山田は展覧会の終了後すべての作品をギャラリーに譲渡し、翌月には突然行方をくらましてしまう。2017年、失踪したのである。姿を消す直前、彼はしきりに「写真のなかに入りたい」と発言していたという。

今回開催される写真展「写真になった男」は山田の失踪後初の展覧会となる。展示は幼くして亡くした父の姿をスクリーンに投影し、そこに自



ありがとうございました